

講演会のご案内

「近現代美術の保存修復－ジャクソン・ポロック作品の事例から－」

講師：クリス・スタヴロウディス

主催：独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター

開催日時：令和5（2023）年10月28日 土曜日 14:00～15:45

会場： 東京国立近代美術館 講堂

参加方法：事前申込制（定員120名予定）

参加費： 無料

※以下のフォームよりお申込み下さい。

<https://forms.office.com/r/DK5j4KP5ik>

申込受付は、定員に達した時点で終了させていただきます。

フリーランスのコンサヴァター（保存修復専門家）として世界で活躍するクリス・スタヴロウディス氏より、近現代美術の保存修復について、ロサンゼルス現代美術館所蔵のジャクソン・ポロック作「ナンバー1」（1949年）の修復事例を中心にご講演いただきます。

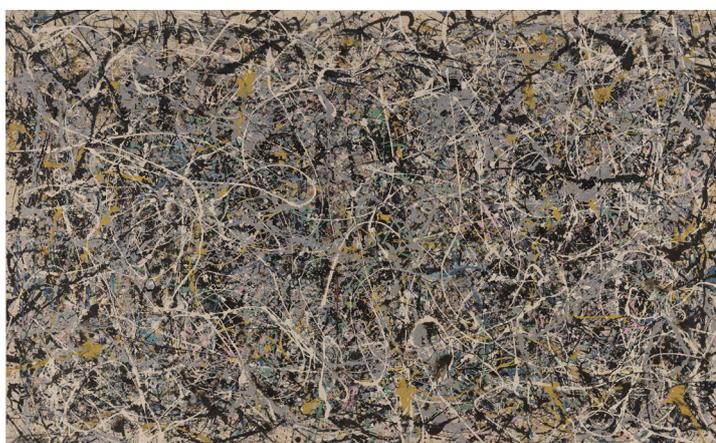
スタヴロウディス氏は、作品のクリーニングに使用する溶媒の配合をコンピューターでプログラム化したモジュラー・クリーニング・プログラム Modular Cleaning Program 開発者であり、このプログラムはコンサヴァター（保存修復専門家）にとって大変有効なツールとなっています。本講演会では、クリーニングにおけるポロック作品へのプログラムの適用から作品全体の修復にいたるまでを解説いたします。

近現代絵画は工業的に生産された画材を用いて制作されており、材質の劣化や修復方法については未知の領域ですが、画材の工場生産開始から100年以上の年月が経過し、これら作品の保存対策は大きな課題となっています。

ジャクソン・ポロックを例とした、工業用塗料をキャンバスに垂らしこんだアクション・ペインティングの作品に対する保存修復の理論的アプローチは、近現代絵画の保存修復に関する今後の取組みに大きな示唆を与えるものと考えます。

■講演会プログラム

- 14:00 開会あいさつ《国立アートリサーチセンター センター長 片岡真実》
- 14:05 趣旨説明《主任研究員 鳥海秀実》
- 14:10～15:30 スタヴロウディス氏の講演
（※英語から日本語への逐次通訳）
- 15:30～15:45 質疑応答
- 15:45 閉会挨拶《国立アートリサーチセンター 作品活用促進グループリーダー 大谷省吾》



ジャクソン・ポロック《ナンバー1》（1949年）
© The Museum of Contemporary Art, Los Angeles

講師プロフィール

クリス・スタヴロウディス (Chris Stavroudis)
カリフォルニア州ウェストハリウッド在住の保存修復専門家。アリゾナ大学で美術史と化学の学士号を、デラウェア大学で保存修復の修士号を取得した。Getty 保存研究所の研究プロジェクトの成果として、2002年にモジュラー・クリーニング・プログラムを開発し、世界各地でこのプログラムのワークショップを行っている。



クリス・スタヴロウディス氏

<お問い合わせ>

独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター 作品活用促進グループ
Mail: collections@artmuseums.go.jp